

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学年 第6学年3組 33名
- 2 主題名 地球に住む1人として 内容項目 C－国際理解，国際親善
- 3 教材名 世界がもし100人の村だったら

(出典：「みんなのどうとく」学習研究社)

4 主題設定の理由

- 国際化が一層進展している社会においては、各国の関係や異文化を単に理解するだけでなく、自らが国際社会の一員としてどのように生きていくかという主体性を強く意識することが必要である。国際理解や国際親善は重要な課題であり、これらに対応できる子ども達にするためには、他国の人々や文化に対する理解と尊重する態度を養うことが求められる。

しかし、子どもたちは平和な日常生活を送ることが多く、普段から地球上の他の国の人々や文化へと気持ちが向いているとは言い難い。世界の現状を知る中で、それぞれが抱えている問題、例えば環境や自然、食料や健康、危機管理など、どれも一地域や一国内にとどまることではないことを踏まえ、世界の中の日本人としての自覚をもつことも重要である。国際理解及び国際親善に努める気持ちをもたせたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
①外国に興味がありますか。	79% (26/33)	21% (7/33)
②外国の人に自慢できる、日本人としての良さはありますか。	88% (29/33)	12% (4/33)
③外国の人に自慢できる、あなたの良さはありますか。	52% (17/33)	48% (16/33)

アンケートから、本学級の児童の「国際理解」についての実態を次のように分析した。

- ・第5学年の時から外国語活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養ってきた。また、本年の1学期にハワイワイパフ高校からの留学生と異文化交流を行ったり、ブルガリアからバラの女王が来校された際に生の英語スピーチに触れたりしてきた経験があり、外国に対する興味・関心は高い。
- ・日本人としての良さとして、「優しさやおもてなしの心がある。」「礼儀正しく、マナーを守る。」「技術力が高い。」などを思い浮かべた児童が多かった。思いやりの心を大切にすることや礼儀正しくマナーを守ること、先進技術の開発に取り組むことなどに日本人としての誇りをもっていることが伺える。このことから日本人としての誇りをもちつつ、さらに地球に住む1人だという感覚を養い、国際親善に努める気持ちをもたせることが必要である。

- 本教材は、メールを通して世界中に広がったメッセージを本にした「世界がもし 100 人の村だったら」の一部を教材としたものである。地球を人口 100 人の村に例え、世界の状況を分かりやすく伝えている。

指導にあたって、導入では事前にとっていたアンケート結果から、児童の「行ってみたい国ランキング」を発表する。自分の憧れの国を思い浮かべたりハワイワイパフ高校との交流を想起させたりすることで、世界のことについて考えていくという本教材への関心を高める。

基本発問では、「100 人の村」メールを読んでどんなことを考えたかを交流する。世界には様々な人種や言語があるだけでなく、貧富の格差があることにも気付かせ、一人一人の考え方や受け止め方が異なることを感じさせる。

中心発問では、自分がもしこのメールを受け取っていたとしたら、次の人にどのようなメッセージを発信するかを考えさせる。人種・言語・生活・教育など様々な視点をもたせ、日本で恵まれた環境の中で学習できる自分を意識させながらじっくりと考えさせたい。また、世界中の人々が親しく暮らしていくにはどんな考え方が必要なのかを補助発問として用意し、今の自分と向き合いながら、国際理解についてさらに深く考えさせたい。

終末では、担任の体験談を伝え、世界の現状について考えさせる。世界の人々の平和と幸せのために考え続けることの大切さや、努力していこうとする気持ちをもたせて終わりたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21 世紀型“スキル&倫理観”】においては、高学年の目標である「異なる複数の意見をもとに考え合い、よりよい意見へと発展させる子」（コミュニケーション能力）及び「誰に対しても分け隔てなく親切にできる子」「学級・学校・地域に貢献できる子」「互いのもつ価値観を受け止め尊重する子」（思いやりの心）に関連している。

ハワイワイパフ高校からの留学生との交流は、児童に文化の違いや共通点を知る大きな感動となった。また、言葉やジェスチャーを介して他国の人々と伝え合う喜びを感じたり、逆に自分の思いの全てを伝えることができないもどかしさを知ったりする良き経験にもなった。児童はハワイの留学生との交流や外国語活動での ALT とのやりとりを通して、日本とは違う言語や文化の中で生活している人がいるということを感じ始めている。本時は、世界には自分と異なる立場の人がいることへの理解をさらに深め、世界の人々の平和と幸せのために努力しようとする心を育む指導を行いたい。

6 ねらい

世界には自分と異なる言語・文化・宗教などの中で生活している人々がいることを理解し、世界の人々の平和と幸せのために努力しようとする心情を育てる。

7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

	<p>互いに協力することが大切だということに多くの人が気付いているのに、なぜ紛争や事件などが世界各地で絶えないのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・差別する心をもっている人がいる。 ・自己中心的な考え方の人がいる。 ・自分の国だけ良ければいいと考えている国があるのかもしれない。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">世界中の人々が親しく暮らしていくには、どんな考え方が必要なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中の人が安心して安全に暮らせるようになってほしいと願うことが大切。 ・自分のことだけ考えるのではなく、世界に目を向けたり、どう生きていくか考え続けたりすることが必要。 ・今まではどちらかというと先進国に目を向けがちだったが、貧困に苦しむ国がたくさんあることを知り、そこから目を背けずに生活していくことが必要。 ・学習できる環境にある自分たちが、より良い世界にしていくために、日々のニュースや新聞で目にする世界情勢にも関心をもっていくことが大事だ。 ・世界の一人一人が考え、行動することが全人類を幸せにしていくことにつながる。 ・国同士がけんかをするのではなく、協力すること、話し合いによって解決していくことが大切。 	<p>★世界には自分と異なる言語・文化・宗教などの中で生活している人々がいることを理解し、世界の人々の平和と幸せのために努力しようとする心情を育てることができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>4 体験談を聞く。 5 振り返りを交流する。</p>		<p>○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。</p>

9 板書計画

- ・1日1日を大切に生きる。
- ・世界の人々の平和を祈る。
- ・現実から目を背けずに生きる。
- ・より良い世界にするために自分にできることは何か問い続ける。

- ・先進国に目を向けがち
- ・学習できる環境にある
私たち

- ・人種の壁を越えて協力できる世界に
- ・生きることに必死な人もいる
- ・残さず食べたりすることの大切さ
- ・教育環境を整えていくことの大切さ
- ・互いに理解しようとする心が大事

どのようなメッセージを発信しますか。

様々な人種の挿絵

円グラフ

円グラフ

円グラフ

⇄

貧困 ↔ 豊か

世界がもし百人の村だったら
村にたとえると・・・

どのようなメッセージを発信しますか。

- ・様々な人種・言語
- ・豊かな生活を送っている人
- ・貧困に苦しんでいる人
- ・日本人の私たちは？

10 ワークシート

自分の考えをもつことができました。

4 3 2 1

今日の授業で新しい発見があった。

4 3 2 1

友達の考えを聞いて、納得することがあった。

4 3 2 1

世界がもし百人の村だったら

氏名

あなたがこのメールを受け取っていたとしたら、次の人にどのようなメッセージを発信しますか。

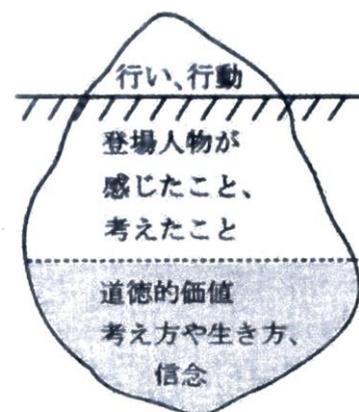
様々な人種の挿絵

★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことなどを書きましよう。

(6) 年 (3) 組

内容項目 C－国際理解，国際親善

教材名 世界がもし 100 人の村だったら



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	<ul style="list-style-type: none">・世界にはいろいろな人がいて様々な言語がある。・豊かな生活を送っている人もいるが，日々の食べ物に困っている人もいる。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none">・世界中の人が，安心して安全に暮らせるようになってほしい。・文字を読むことは当たり前だと思っていたけどこのメールが読める自分は，今幸せなんだと気付いた。・この事実を知った上で，どう生きていくかが大切だと感じた。・日本人の私たちは恵まれているのかな。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none">・今まではどちらかというと先進国に目を向けがちだったけど，貧困に苦しむ国がたくさんあることを知り，そこから目を背けずに生活していくようにしたい。・学習できる環境にある自分たちが，より良い世界にしていくために，日々のニュースや新聞で目にする世界情勢にも関心をもっていくことが大事。・一人ひとりが考え行動し，努力することが，全人類の幸せをつくっていくんだ。